



つながろう！はねうまキャンプ

(ボランティア自主企画事業)
(地域ぐるみで体験の風をおこそう運動推進事業)

実施期間：令和6年1月27日(土)～28日(日)



目的・趣旨

国立妙高青少年自然の家と近隣の施設が連携して自然体験活動事業を実施し、参加者が体験活動の楽しさを知り、継続して体験活動に取り組むきっかけとなる機会とする。併せて、「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発も行う。

事業概要

【参加者数】 小学生45名

【実施内容】 □クラフト(コースターづくり) □雪上活動 など

【外部指導者】 (クラフト講師) 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会

(法人ボランティア) 企画コアメンバー 6名 当日参加 16名

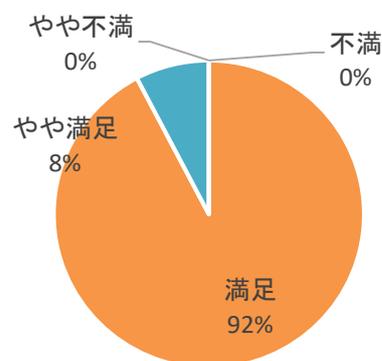
事業のポイント

- ボランティアの自主企画事業として企画から運営まですべてをボランティアが主体となって行った。
- 地域ぐるみで体験の風をおこそう運動の一環として、妙高市グリーンツーリズム推進協議会から協力をいただき、当施設では実施できないクラフト体験を実施した。

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- ボランティアが企画から運営まですべてを主体的に行ったことで、ボランティアにとって貴重な学びの場となった。ボランティアが工夫を凝らし、ただの雪遊びではなく、プログラムにストーリー性を持たせ、参加者がより主体的にプログラムに参加することができた。
- 地域ぐるみで体験の風をおこそう運動の一環として、妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会から協力をいただき、当施設では実施できないクラフト体験を実施できた。

参加者満足度



事業の様子



開会式(進行もすべてボラが担当)



最初のアイスブレイク



コースターづくり



そり遊び



雪上運動会



集合写真



ボランティアのふりかえり

詳しい様子はこちらより！



<https://youtu.be/cZM9VnHDFEQ>



自然の家 公式動画(YouTube)

妙高三三チャンネル



参加者の声

- (参加者より) 雪遊びも楽しかったし、自分だけのコースターを作ることができた。仲間と譲り合いながら道具を使うことができた。
- (ボランティアより) 今回、班付ボランティアとして初めての参加で、子どもたちと2日間過ごすことがうまくできるかすごく不安だったが、先輩ボランティアの方たちが気にかけてくれ、質問に対しても丁寧に答えていただいたので楽しく安心感を持って活動することができた。

課題

- 参加者数の多い事業を多くのボランティアが関わりながら運営するという一方で、スタッフ間の情報共有が非常に重要であった。事前のオンライン説明会等を実施したが、全員が参加できたわけではなかったので、その在り方について、早めの日程調整や複数回の実施など、工夫が必要である。